

タイトル:

母国に帰ってからの夢

氏名: ゲン ウェン フォン

はじめまして。

私はゲンウェンフォンです。

最初、社長から日本語スピーチコンテストに参加しませんかと言われた時、大変なやみしました。私は、聞くことはある程度わかるのですが話すことがとても苦手だったからです。でも社長や会社のなかまに応援してもらい失敗してもいいから勇気をだして頑張ろうと思いました。めいわくをかけるかもしれませんがよろしく願います。

私は外国人技能実習生として2017年4月に日本へ来ました。私は、旧技能実習制度を利用し、1年目の途中から新技能実習制度になりました。また、3年間の技能実習終了後、3号の技能実習生として日本にまた来ることができるとも知りました。今、私は3年間の技能実習を終了してベトナムに一時帰国し、3号の技能実習生として日本へ来る予定でしたがコロナという病気がたくさん増えて飛行機が飛ばなくなり、ベトナムに帰るこ

とができなくなりました。在留資格も3か月の短期滞在として6か月の特定活動とさまざまな許可をもらい日本に住むことができました。特に、3か月の短期滞在のときは仕事をすることができず生活面で社長に助けってもらったことをたいへん感謝しています。そして3か月後また帰ることができず、次に特定活動になって大好きなボード張りの仕事ができたとときの喜びは、今でもわすれることはできません。また、社長や会社のなかまと一緒に働く楽しさもとても嬉しく思いました。これは今までの技能実習生が経験できなかったことがたくさん経験でき、私の人生にとってもよい経験になったのではないかと思います。そして、私の技能実習の3年間のうち1年目に内装仕上ボードの試験と日本語の試験があることです。試験合格という目標があることで技能実習をとっても真剣に考える大事な試験でした。また、旧技能実習制度と新技能実習制度の違いはベトナムに帰るまえにかならず、

もう一度試験を受けることです。これを合格するとさらに2年間、3号の技能実習生として日本で働く事や勉強ができることは、私にとってとても素晴らしいことだと思います。そして技能実習の3年目のとき、私がベトナムに住んでいたときの夢を実現することができました。その夢は日本で3年間働いて私の大きな家を買って家族と一緒に住むという夢でした。この大きな夢もあきらめず一生懸命努力して青い2階建の家を買うことができたとき家族みんながたいへん喜んでくれました。そして、新しい夢もふえました。それは日本の内装仕上に興味がふえ、技能実習終了後ベトナムに帰ったらまた、同じような建築関係の仕事につき、住みやすいベトナムの街づくりをしたいのが夢です。例えば通勤手段がベトナムと日本では大きく違います。ベトナムはバイク通勤ですが日本は電車通勤です。電車だととても安心して通勤ができ、時間もとても正確に通勤することができます。よって

いろいろなことが正確にできることにつなが  
がると思います。そして、日本の実習ではゴ  
ミを捨てるだけでなく、分別をし、リサイ  
クルをできるようにして資源を大事にするこ  
とを勉強しました。3年前のベトナムは、ほ  
とんどゴミを分別する習慣はありませんでし  
たがベトナムも日本と同じようにゴミをリサ  
イクルすることによってさらに美しいベトナ  
ムになると思います。

日本での3年間の経験や勉強は、ベトナム  
に帰ってからの私にとって良い宝物になった  
と思います。ベトナムに帰って早く成長した  
自分を家族や友達と先生に見せたいです  
。

最後に社長をはじめ、お世話になったみな  
さんにたいへん感謝しています。

心からありがとうございます。